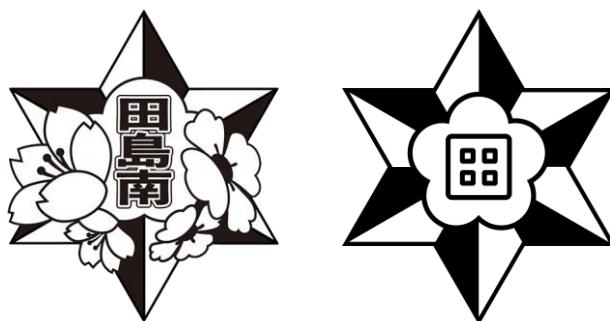


令和 7 年度
「運営に関する計画」
(年度当初)



田島南小中一貫校

令和 7 年 4 月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

小中一貫校としてスタートして 4 年目となる。

スローガン「I' ll get my dream. We' ll support your dream. ～つかめ 自分の夢 ささえよう みんなの夢～」のもと、4 つの柱「言語力の育成」「性・生教育」「キャリア教育」「読書活動の充実」を軸に今年度も学校づくりを進めていく。

令和 5 年度末に大阪市教育振興基本計画が見直されたことを受けて、令和 7 年度は本校の課題をより精選し、以下の点について重点的に取り組むこととする。

【安全・安心な教育の推進】

【小学校の現状】

- ・小学校学力経年調査「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合：84.3%（R6 目標 85%）
- ・年度末の校内調査における、不登校児童の在籍比率：3.83%（391 名中 15 名）

【中学校の現状】

- ・年度末の校内調査「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する生徒の割合：84.0%（R6 目標：85%）
- ・年度末の校内調査における、不登校生徒の在籍比率：6.7%（195 名中 13 名）

【田島南小中一貫校の課題】

- 「生きる教育」をはじめ、すべての教育活動で自己肯定感を高める取組の推進。
- 不登校等支援が必要な児童生徒が、落ちついて学習生活できる環境の整備。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

【小学校の現状】

- ・小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対市比（同一母集団での比較）
4 年：0.93（R5 +0.09Pt） 5 年：0.91（R5 より-0.06Pt） 6 年：1.02（R5 より+0.19Pt）
- ・小学校学力経年調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合
3 年：47.2% 4 年：40.0% 5 年：25.5% 6 年：32.7%（R6 目標：全学年 32%以上）

【中学校の現状】

- ・中学生チャレンジテストにおける、国語の平均正答率の対府比（同一母集団での比較）
8 年：0.89（R5 より+0.1Pt） 9 年：0.93（R5 より-0.02Pt）
- ・年度末の校内調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する生徒の割合
7 年：36.5% 8 年：25.0% 9 年：37.5%（R6 目標：全学年 32%）

【田島南小中一貫校の課題】

- 国語科において「話したことば」の育成方法を探求することによる教員の授業力向上。
- 全教科における言語活動を取り入れた授業についての研究や研修の継続的な実施。

【学びを支える教育環境の充実】

【小学校の現状】

- ・年度末の校内調査「読書をしていますか」で肯定的に回答する児童の割合：70.0%（R6目標72%）
- ・学校図書館貸出冊数（児童1人当たりの年間貸出冊数）：33.8冊（13,230冊/391名）
- ・年度末に年次有給休暇を10日以上取得した教職員の割合90.0%

【中学校の現状】

- ・年度末の校内調査「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」に対して、「毎日」「ほぼ毎日」と回答する生徒の割合：73.7%（R6目標：70%以上）
- ・学校図書館貸出冊数（生徒1人当たりの年間貸出冊数）：3.2冊（629冊/195名）
- ・年度末に年次有給休暇を10日以上取得した教職員の割合80.0%

【田島南小中一貫校の課題】

- 図書館環境整備の継続及び読書意欲を高める取組の推進。
- ICT担当教員を中心とした、授業及び家庭での学習者端末の活用方法についての研修を実施し教員のスキルアップに努めることで、本校における教育DXを推進する。
- 学習者用端末の活用について、授業や家庭学習での効果的な使用方法を教員間で共有し、さらなる活用をめざす。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

【田島南小中一貫校共通】

- 令和7年度の小学校学力経年調査及び年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的に回答する児童生徒の割合を、90%以上にする。
- 年度末の校内調査における不登校の児童生徒の在籍比率を、毎年、前年度より減少させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

【田島南小中一貫校共通】

- 令和7年度の国語において、小学校学力経年調査の平均正答率の対全国比及び中学生チャレンジテストの平均正答率の対府比を、どちらも1.00以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査及び年度末の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている」と回答する児童生徒の割合を、35%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

【田島南小中一貫校共通】

- 令和7年度の授業日において、児童生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の55%以上にする。ただし、学校行事等ICT活用が適さない日は除く。
- 令和7年度末の学校図書館貸出冊数（児童生徒1人当たりの年間貸出冊数）を、小学校で35冊、中学校で6冊にする。
- 令和7年度末に年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む

【安全・安心な教育の推進】

【田島南小中一貫校共通】

- 小学校学力経年調査及び年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的に回答する児童生徒の割合を、86%以上にする。
- 年度末の校内調査における不登校の児童生徒の在籍比率を、毎年、前年度より減少させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

【田島南小中一貫校共通】

- 小学校学力経年調査の平均正答率の対全国比及び中学生チャレンジテストの平均正答率の対府比（国語）を、1.00以上にする。
- 小学校学力経年調査及び年度末の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている」として、最も肯定的に回答する児童生徒の割合を、35%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

【田島南小中一貫校共通】

- 授業日において、児童生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の51%以上にする。ただし、学校行事等ICT活用が適さない日を除く。
- 年度末の学校図書館貸出冊数（児童生徒1人当たりの年間貸出冊数）を、小学校で30冊、中学校で4冊にする。
- 年度末に年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上にする。

(様式 2)

田島南小中一貫校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○小学校学力経年調査及び年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的に回答する児童生徒の割合を、86%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査における不登校の児童生徒の在籍比率を、前年度より減少させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>好ましい人間関係や信頼関係を確立する集団の育成を推進する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケート（毎学期）および相談申告機能を、1人1台学習者用端末を活用して実施する。 ・ブロック化による学校支援事業で、hyper-QUを実施し、生徒の実態把握を図るとともに、実態に基づいた指導を行う（中学校）。 ・区役所、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、こども相談センター等関係諸機関との連携を週1回以上行う。 ・年度末の校内調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を、85%以上にする。 	
<p>取組内容②【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>9年間カリキュラムの目標を「自分らしい生き方を実現するための力を育む」と定めて、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育成する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きるチカラまなびサポート事業を活用して、インターネットやSNS等の適切な使い方についての出前授業を実施する（小学校）。 ・年度末の校内調査における「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を、85%以上にする。 ・生きるチカラまなびサポート事業を活用して、産官学連携の取組を実施する（中学校）。 ・年度末の校内調査における「将来の夢や目標がありますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を、75%以上にする。 	
<p>取組内容③【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>不登校等の支援が必要な児童生徒が、落ちついて学習生活できる環境を学校内に設置し、学びたいと思ったときに学べる環境を整える。</p>	

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童生徒の改善の割合を増加させる。 <p>取組内容④【基本的な方向 2 豊かな心の育成】</p> <p>「生きる教育」の学習について、関連諸機関と連携し、性と生を考える取組を小中ともに全学年で推進する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きるチカラまなびサポート事業を活用し、助産師による出前授業を実施する（中学校）。 ・年度末の校内調査における「自分には良いところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を、75%以上にする。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○ 	
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ② ③ ④ 	
次年度への改善点	
<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ 	

(様式2)

田島南小中一貫校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況																		
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査の平均正答率の対全国比及び中学生チャレンジテストの平均正答率の対府比（国語）を、1.00以上にする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>8年</th><th>9年</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5年度</td><td>0.84</td><td>0.97</td><td>0.83</td><td>0.79</td><td>0.95</td></tr> <tr> <td>R6年度</td><td>0.93</td><td>0.91</td><td>1.02</td><td>0.89</td><td>0.93</td></tr> </tbody> </table> <p>○小学校学力経年調査及び年度末の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」に対して、最も肯定的に回答する児童生徒の割合を、35%以上にする。</p>	学年	4年	5年	6年	8年	9年	R5年度	0.84	0.97	0.83	0.79	0.95	R6年度	0.93	0.91	1.02	0.89	0.93	
学年	4年	5年	6年	8年	9年														
R5年度	0.84	0.97	0.83	0.79	0.95														
R6年度	0.93	0.91	1.02	0.89	0.93														

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>言語活動を充実させ、思考力、判断力、表現力を育成する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学習意欲向上のため、ブロック化による学校支援事業及び区の支援予算を活用し、小学校全学年で漢検を、中学校全学年で英検を実施する。 ・授業改善のため、ブロック化による学校支援事業を活用し、5年生及び8年生でリーディングスキルテストを実施する。 	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>9年間を見通した学習カリキュラムを確立するため、5教科において小中協同で学力向上・言語力育成に取り組む。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校5科専科と中学校5教科主任の連携を密にし、各教科の特性を生かした授業づくりを行い、小学校教員による5教科の師範授業を年間10回実施する。 ・公開授業期間を設定し、全教員が一人1回以上の研究授業を行うとともに、学力向上支援チーム事業を活用し、小学校算数と中学校数学において学力向上に取り組む。 	
<p>取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>「がんばる先生支援（グループ研究A）」を活用して、児童生徒の対話力を育てる「国語科教育」の推進を行う（小学校）。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査における「相手の気持ちを考えて話を聞くことができる」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、85%以上にする。 ・年度末の校内調査における「授業中自分の考えをよく発表している」に対して、 	

<p>肯定的に回答する児童の割合を、70%以上にする。</p> <p>取組内容④【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 学びサポーター、学校元気アップ地域本部事業を活用し、放課後学習会を実施し、主体的な学びを推進する（中学校）。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後学習会を原則として毎日実施する。 <p>取組内容⑤【基本的な方向5 健やかな体の育成】 規則正しい生活習慣を身につけ、児童生徒が自分自身の健康に関心を持ち改善できる取組を推進する。また、食育を通じて歯科保健（噛むこと）の取組を推進する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査における「給食を時間内に食べなければならない」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする（小学校）。 ・年度末の校内調査における「朝と夜に歯を磨いている」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を、80%以上にする。 ・年度末の校内調査における「（平日）毎日、同じくらいの時刻に起きている」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を、85%以上にする（中学校）。 	
--	--

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
年度目標	<input type="radio"/> <input type="radio"/>
取組内容	<input type="radio"/> ⑤ <input type="radio"/> ⑥ <input type="radio"/> ⑦ <input type="radio"/> ⑧ <input type="radio"/> ⑨
次年度への改善点	
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(様式 2)

田島南小中一貫校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○授業日において、児童生徒の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 51% 以上にする。ただし、学校行事等 ICT 活用が適さない日を除く。</p> <p>○年度末の学校図書館貸出冊数（児童生徒 1 人当たりの年間貸出冊数）を、小学校で 31 冊、中学校で 5 冊にする。</p> <p>○年度末に年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 90% 以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容⑩【基本的な方向 6 教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】学習者用端末を活用した家庭学習の推進や表現力を養うため、学習課題やデジタルドリルに取り組む。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校高学年及び中学校において、児童生徒が学習者用端末を活用したプレゼンテーションを行う取組を実施する。 ・年度末の校内調査における「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしていると思いますか」に対して、「そう思う」と回答する児童生徒の割合を、75% 以上にする。 <p>取組内容⑪【基本的な方向 8 生涯学習の支援】</p> <p>学校図書館を拠点に、学校全体で読書環境の整備・充実を行うと共に読書意欲を高める取組を推進する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昼休みや放課後は図書館を原則として毎日開館するとともに、玄関ホールなど図書館以外の場所に図書スペースを設ける。 ・年度末の校内調査における「日々の生活の中で読書をしていますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を、75% 以上にする。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

年度目標

○

○

取組内容

⑩

⑪

次年度への改善点

○

○